



令和4年度北上小学校 校長室の窓から

北上をわたる風

【目指す児童像】

- 思いやる子ども
- よく考える子ども
- きたえる子ども

令和4年11月24日（木） No. 7 石巻市立北上小学校 校長 伊藤 礼子

冬の足音が聞こえてきました

先日、帰りのスクールバスを待つ間、子供たちが、雪虫が飛んでいるのを教えてくれました。校長室から見える山はまだ紅葉の名残を残していますが、いよいよ冬が間近に迫っています。

10月末の学芸会、そして11月15日の持久走記録会では、児童の頑張る姿を多くの保護者の方に直接見ていただくことができ、うれしく思いました。持久走記録会は初の試みとして、「北上健康づくりパーク」を会場としました。広々とした環境で、子供たちも気持ちよく走れたようです。新型コロナウイルスによる活動の制約はまだなくなりませんが、子供たちが自分たちの地域によさに触れ、また、地域の皆様にも北上小学校と児童に親しみを持っていただけるような機会を、できるだけ多くつくっていきたくて考えています。



日中でも寒さを感じる季節ですが、学校の暖房開始は、原則12月以降です。更に、感染症対策の常時換気も実施中です。衣服での温度調節ができるよう、お子さんの服装選びにもご助言ください。また、歩行中、ポケットに手を入れてしまわないよう、手袋のご準備もお願いします。

全員元気で、2学期末を迎えたいと思います。

【代表委員会(11/14)で決まったこと】

11月の代表委員会では、児童が、学校をもっと良くするための自分たちの課題を考え、その改善策を話し合いました。児童会で選んだ議題は「バスの乗り方を見直そう」と「あいさつの仕方を見直そう」です。あらかじめ各学級の意見を募り、それを基に、児童会としてどうしていくかを話し合いました。

決まったことは、「児童会だより」として各学級に知らされます。全てをここに挙げることはしませんが、どちらにも「上学年が下級生に手本を見せる」「友達同士で声を掛け合う」という内容が入っていました。「厳しいルールをつくる」「先生に叱ってもらおう」などではなく、良い習慣を上級生から下級生に「姿」で引き継いでいこうと考えられたことに、改めて北上の子供たちの素晴らしさを感じました。この先、また、気持ちが緩んでくることもあるかもしれませんが、自分たちで決めたことを思い出し、見直ししながら、間もなく開校10周年の節目を迎える北上小学校の「伝統」や「カラー」を作っていくと信じています。



「人とのつながり」の中で学んでいます。



<11/8 小中合同防災訓練>
中学生を「縦割りリーダー」として、簡易担架作りや煙道体験などの防災学習を行いました。



<11/15 持久走記録会>
いつも応援してくれる高学年の力走！ 下級生が、ゴール前で声援を送りました。



<11/21 わかめ工場見学(4年生)>
悪天候で「種付け」はできませんでしたが、「浜人」さんと、袋詰めを体験させていただきました。